

第1章 根室市の概要

1-1 位置および地勢

根室市は、わが国の最東端に位置し、北はオホーツク海、南は太平洋を臨み、面積506.25km²（歯舞群島含む）の細長い半島状の地形を有し、東は納沙布岬の先に、海を隔てて、歯舞群島、色丹島、北東には国後島、択捉島などの北方領土が連なっています。

西には白鳥の湖として知られる風蓮湖を含む道立野付風蓮自然公園があり、中でも春国産原生野鳥公園は、世界有数の野鳥、水鳥の飛来地として有名であるなど、自然豊かなまちです。

一方、納沙布岬付近には、暗礁があり、加えて濃霧がはなはだしく、魔の海として航海上の難所とされ納沙布岬灯台が設置されています。また、太平洋側は歯舞、モシリ、チトモシリ、友知、ユルリ、モユルリ島が点在し、マッカイヨウ岬、花咲岬、落石岬が南東に突き出し、それぞれ、根室港（花咲港区）、歯舞漁港、落石漁港を形成し、船舶の停泊また漁船の避難港として重要な役割を占めると共に、冬期間も結氷せず、沿岸沖合漁業の拠点として根室港（根室港区）と表裏をなしています。

地形は、全体として台地状、あるいは丘陵性の地形を呈しています。山岳および大きな河川はなく、概ね平坦な隆起海蝕地で、市の中心部は半島のほぼ中央に位置し、東西100.83km、南北54.87kmの波状性台地であり、地形に高低差があり、街路は概ね緩やかな坂をなしています。



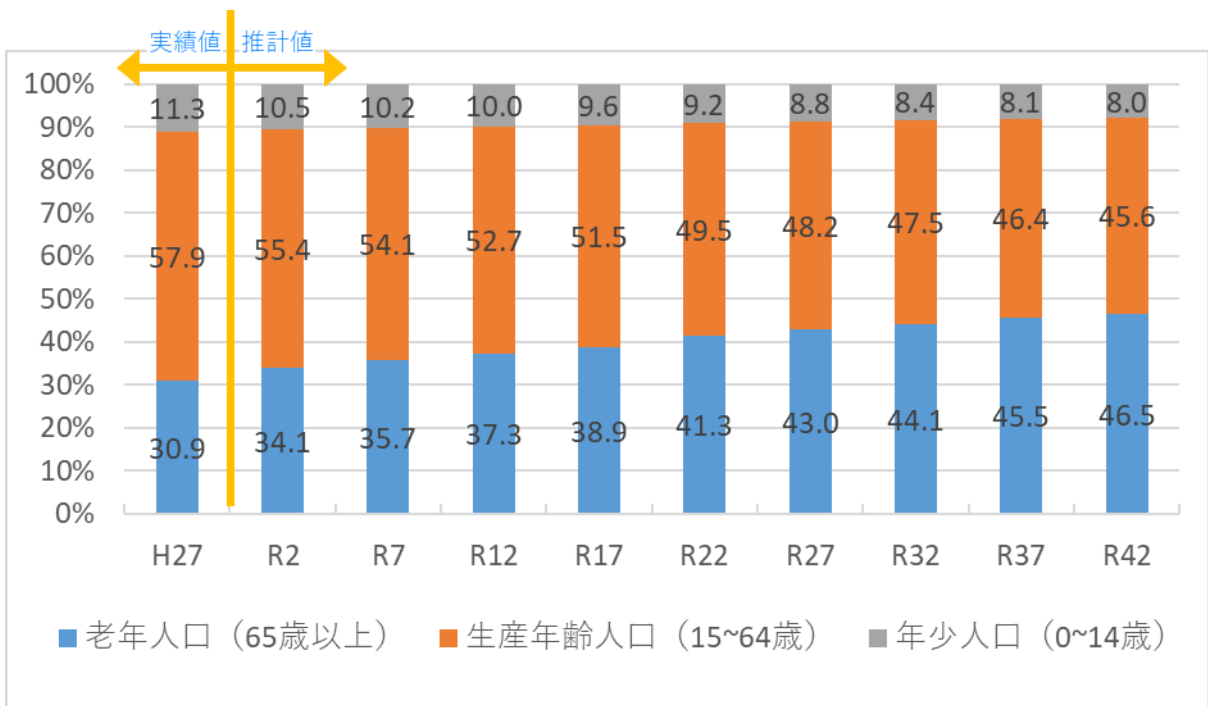
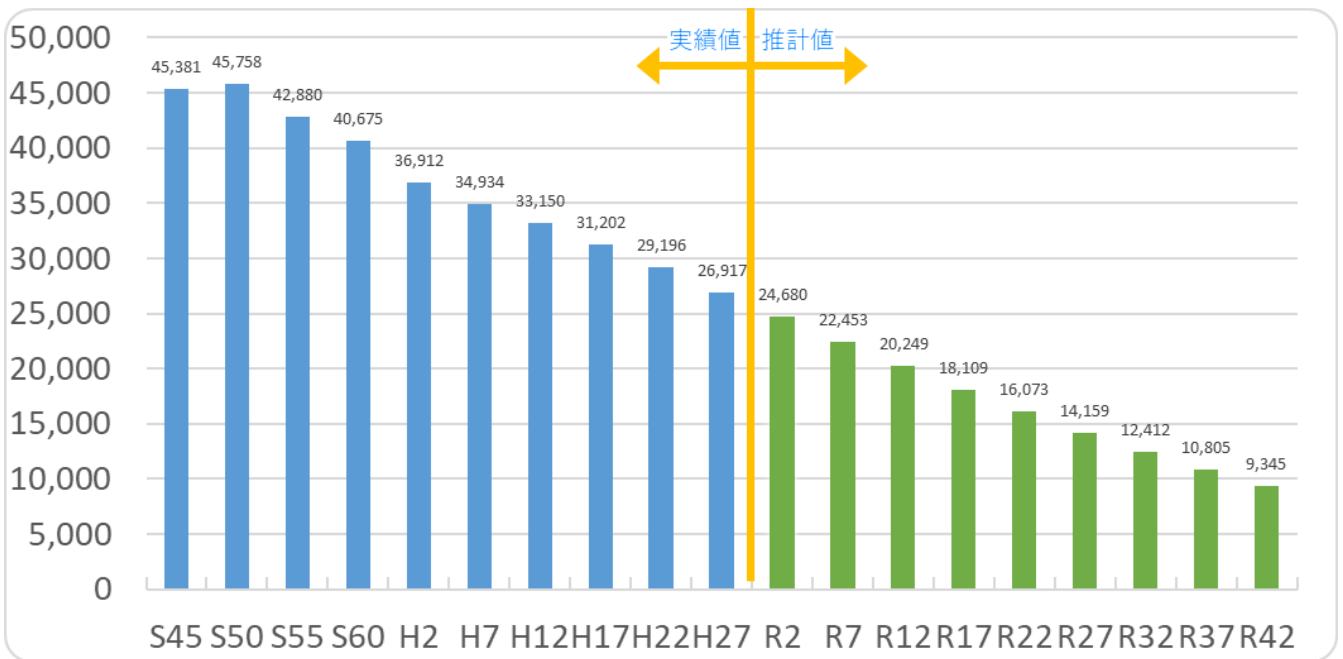
根室市の位置

1-3 人口推移

根室市の行政人口は、昭和50年をピークとして、以降ほぼ直線的に減少傾向が続いています。

将来の年齢別人口割合は、令和2年では老年人口(65歳以上)34.1%、年少人口(14歳以下)10.5%に対し、令和42年では老年人口(65歳以上)46.5%、年少人口(14歳以下)8.0%と少子高齢化が着実に進行すると見込まれています。

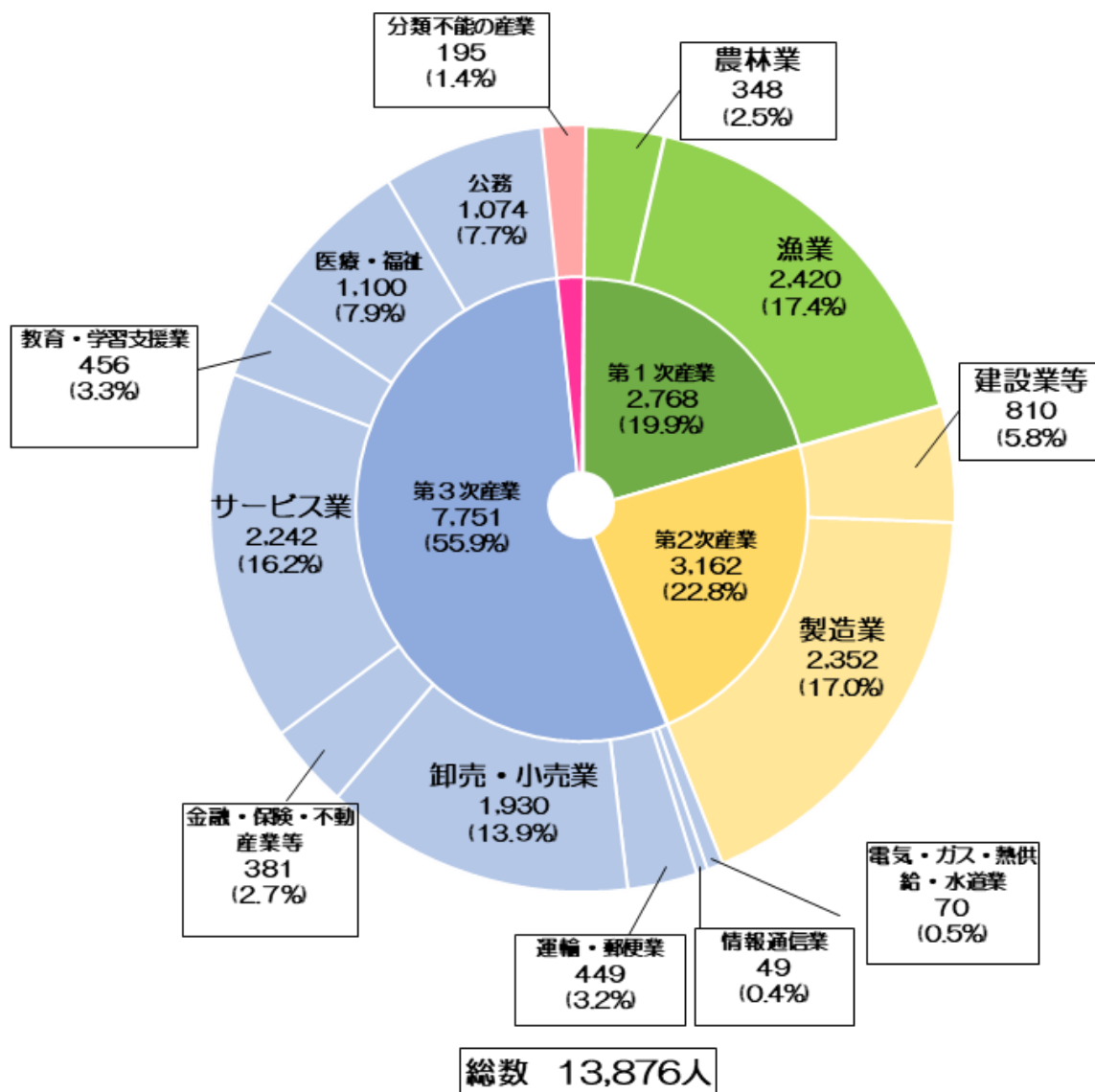
(人)



年齢別人口割合の将来推計 出典：根室市人口ビジョン

1-4 産業特性

根室市の産業は、産業別 15 歳以上の就業者数の割合で卸売・小売・飲食店などの第 3 次産業が最も多く、次に製造業などの第 2 次産業、最後に漁業などの第 1 次産業が続いています。



産業別 15 歳以上の就業者割合

出典：国勢調査（平成 27 年）

1-5 根室市全域の風水害記録

根室市内で発生した過去の風水害は、台風や低気圧の通過により床上および床下浸水などの住宅被害や水産被害などを発生させています。

特に平成18年10月6～9日の爆弾低気圧により波浪や高潮が重なった沿岸域では、大きな被害が発生しました。

根室市全域における風水害記録

年号	年月日	種別	被害状況等
大正	8年8月4日	大雨	床上浸水34戸、床下浸水78戸。
昭和	12年7月11日	台風	根釧地方死者12名、家屋全壊3戸、浸水170戸、漁船沈没・座礁12隻、行方不明5名。
昭和	16年9月5日 ～7日	台風	根室地方家屋全壊5棟、半壊12棟、床下浸水28棟。
昭和	27年3月20日	大雨	河川はらん浸水家屋100余戸。19～20日降水量83.7mm。
昭和	32年8月5日 ～7日	大雨	根釧地方梅雨末期前線死傷3名、家屋全半壊4戸、浸水1,158戸、畑冠水1,831ha。
昭和	35年12月25日	暴風雪	根室沖を通過して発達した低気圧による陸上22.0m/s、海上30.0m/sの吹雪。列車運休、電信・電話障害、学校休校、床上浸水15戸。
昭和	40年1月8日 ～9日	暴風雪	根室の南を通過した低気圧による陸上20.2m/s、海上25m/sの風による高潮。全壊7戸、一部破損19戸、床上浸水14戸、床下浸水22戸、漁船被害134隻、水産施設木工被害多数。
昭和	54年10月19日	暴風雨・波浪	台風20号の通過により総降水量144mm記録。水産被害・住家被害・農業被害を中心に被害額1,341百万円。岬町・西浜町・宝林町・月岡町住民に避難命令。
平成	4年9月11日 ～12日	大雨・洪水・ 暴風・波浪・ 高潮	台風17号の通過により最大瞬間風速28.9m/s、総降水量259.0mm、日降水量211.5mmで観測開始以来第1位を記録。1時間における最大降水量29mm記録。住家床上・床下浸水109棟、水産施設被害などの水産被害28件など、被害額116百万円。浜松地区住民に避難勧告。
平成	10年8月30日 ～31日	大雨・洪水	低気圧の通過により総降水量167mm、日降水量135.5mmを記録。住家床上、床下浸水8棟、がけ崩れ7件、水産施設被害など55件。浜松地区住民が自主避難。被害額13百万円。
平成	10年9月16日 ～17日	大雨・洪水・ 暴風	台風5号の通過により総降水量126mm、最大瞬間風速30m/sを記録。道路冠水5件、漁具被害4件、漁船小破1件など。被害額126百万円。
平成	16年1月13日 ～16日	暴風雪・波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速33.0m/sを記録。国道44号線（穂香～厚床間）、道々5路線通行止。住家・営農施設被害など35件。被害額5百万円。
平成	18年10月6日 ～9日	暴風・波浪・ 大雨・洪水・ 高潮	急速に発達した低気圧の通過により観測史上極値となる最大瞬間風速42.2m/sを記録。温根沼などで、15世帯23名が自主避難。市内5,470戸で停電。負傷2名、軽負傷5名、住宅被害242件（床上浸水13件、床下浸水12件、一部損壊217件）、農業被害134件、水産被害458件、商工被害100件など計1,083件。被害額1,968百万円
平成	21年10月8日 ～9日	暴風・波浪・ 高潮	台風18号の通過により、最大瞬間風速35.4m/sを記録。総雨量は105.5mmを記録。西浜町7丁目の市道西浜1号線、市道根室穂香線の2箇所で道路冠水のため通行止。市内436戸で停電。9日は小中学校、高校は市内全校が臨時休校。住宅被害26件（床下浸水1件、一部損壊25件）、農業被害16件、水産被害8件など計72件。被害額35百万円。
平成	24年4月3日	暴風・波浪	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速30.5m/sを記録。雨による融雪により、床上浸水等4件が被害、公共施設が一部破損。道道等一部路線で決壊。被害総額1百万円。
平成	26年12月16日 ～18日	暴風・波浪・ 高潮・暴風雪・ 大雪	前線を伴った低気圧の影響により、暴風雪となり、最大瞬間風速39.9m/sを記録。猛吹雪のため、道道・市道の通行止めが発生し、特に道道35号根室半島線が長期にわたり通行止めとなり、小中学校の休校が相次いだ。床上・床下浸水が15件、公共施設が一部破損、被害総額263百万円。
平成	27年8月10日 ～11日	大雨・洪水・ 土砂災害	暖かく湿った空気が南から流入し、大気の状態が非常に不安定となったため、大雨警報が発令された。最大で53.5mm/hrの雨量が記録され、床上浸水1件、床下浸水20件、道路の破損や土木・林業等の被害があった。また、停電、国道・道道の一部通行止め、航空機の欠航・遅れ、列車の運休・遅れが発生した。被害額17.6百万円。
平成	27年10月7日 ～9日	大雨・洪水・暴 風・波浪・高潮	台風23号から変わった温帯低気圧の影響により暴風雨と高潮となった。最大瞬間風速38.0m/s、最高潮位は根室港で142cm、花咲港で105cm。住家・事業所の床上浸34件、床下浸水17件、漁船転覆や定置網破損などの水産被害117件など合計312件、被害額16.5百万円。
平成	28年1月18日 ～20日	暴風雪・大雪 ・波浪・高潮	急速に発達した低気圧の停滞により、最大瞬間風速33.3m/s、根室港で最高潮位1.2mを記録。沿岸地区4,069世帯9,700人に避難勧告を発令。道道、市道に通行止めが発生。漁船被害など水産被害2件他計7件。被害額6百万円。
平成	29年9月18日 ～19日	大雨・暴風・ 波浪	台風18号の通過により、根室で最大瞬間風速34.0m/s、納沙布で34.6m/sを記録。厚床では、最大瞬間風速29.4m/s、最大風速18.5m/sを記録し、統計開始以来第1位となった。住家・非住家（一部損壊）20件、農業被害30件、土木被害2件、水産被害40件、商工被害8件、その他30件。被害合計130件、被害額63.3百万円。

出典：根室市 HP

1-6 根室市全域の地震記録

根室市の周辺では、太平洋側に千島海溝が存在し、北海道の下に太平洋プレートが沈み込んでいるため、東北地方太平洋沖地震(平成23年3月11日に発生)をはじめとする巨大地震が繰り返し発生し、さらに津波により大きな被害を受けています。

千島海溝周辺では、海溝型の地震発生が予想されていることから、今後も十分に注意する必要があります。

さらに、胆振東部地震(平成30年9月6日に発生)では、北海道ほぼ全域で停電となり、停電に対する対応も必要となっています。

根室市全域における地震記録

年号	年月日	種別	被害状況等
天保	14年3月26日	地震・津波	6時ごろ国後、根室、厚岸、釧路地方大地震の津波のため水死46名、家屋破壊75戸、船舶破損61隻。
明治	27年3月22日	地震	市街道路60～90mさける。落石、納沙布2灯台ランプレンズ破損。
昭和	35年5月24日	津波	死者1名、床上浸水39棟、床下浸水1棟、水産等被害額24百万円。 ※5月23日に南米チリ沖を震源とする地震が発生。津波は翌24日午前2時38分に花咲港区に到達。最大波高は339cmを記録。
昭和	48年6月17日	地震・津波	花咲港区における最大波280cm、重傷3名、軽傷19名、住宅全壊2戸、一部破損5,034戸、津波による床上浸水61戸外、水産港湾、商工業その他被害額1,897百万円。
平成	5年1月15日	地震	軽傷11名、住家一部破損130棟、商工業被害83件、水産被害11件、学校破損13校など被害額407百万円。厚床、歯舞で断水、歯舞、厚床の一部、敷島町の一部2,152戸が停電。
平成	6年10月4日	地震・津波	重傷8名、軽傷42名、住家全壊17棟、半壊271棟、一部破損1,533棟、床上浸水2棟、魚船破損12隻などの水産被害、道路亀裂等58ヵ所などの土木被害、港湾1港区、漁港10港の破損、商工業被害501件など被害総額17,865百万円。沿岸住民に避難勧告。火災1件発生(部分焼)別当賞、初田牛、西厚床の一部で停電、市内全域9,450世帯で断水。JR花咲線根室～厚床間が11月2日まで不通。
平成	12年1月28日	地震	軽傷2名、公共施設及びその他施設の被害なし。
平成	15年9月26日	地震・津波	花咲港区における津波到達時刻等午前5時27分、最大波89cm、軽傷4名、住宅被害18件、港湾1港区11件、商工、学校施設など計122件。被害額178百万円。JR花咲線根室～厚床間29日まで運休。落石・光洋町地区住民の26世帯92名が自主避難。
平成	16年11月29日	地震・津波	花咲港区における津波到達時刻等午前3時54分、最大波12cm(午前5時3分)重傷者3名、軽傷者1名、港湾被害など計61件、被害額353百万円。
平成	16年11月29日	地震	軽傷者1名、物的被害5件。
平成	18年11月15日	地震・津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等午後9時34分最大波31cm(16日午前1時52分)市内全域に避難勧告発令(13,159世帯31,426人対象)。避難人数約900人。
平成	19年1月13日	地震・津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等午後2時39分。最大波15cm(午後4時34分)。沿岸31区に避難勧告発令(3,310世帯、9,206人対象)。
平成	19年8月17日	津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等(第1波不明)。最大波0.1m(午後7時53分)。
平成	21年9月30日	津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等(第1波不明)。最大波0.1m(午後3時31分)。
平成	22年2月27日	津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等28日午後1時47分。最大波1.0m(28日午後6時23分)。沿岸32地区に避難指示発令(3,363世帯8,840人対象)。避難人数約2,200人。
平成	23年3月11日	地震・津波	被害件数219件(住宅11件、港湾施設14件、水産施設・漁船95件、商工26件、その他73件)。花咲港区における津波到達時刻11日午後3時43分。最大波286cm(11日午後3時57分)。沿岸町会に避難指示発令(3,318世帯8,620人対象)。避難人数約2,900人。
平成	24年3月14日	地震・津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等14日午後6時55分。最大波微弱(14日午後7時08分)。沿岸町会に注意喚起。
平成	25年2月2日	地震	厚床で震度5強を観測。負傷者1名。公共施設に外壁がはがれるなどの被害が発生した。
平成	25年2月6日	津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等6日午後8時22分。最大波10cm。14時41分、津波注意報発令。沿岸地域に注意喚起を促す。
平成	26年4月2日	津波	被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等3日午前11時46分。最大波20cm。午前3時00分、津波注意報発表。沿岸地域に注意喚起を促す。なお、地震を感知後に根室市災害警戒本部を設置し、対応を行った。
平成	26年6月26日	地震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード4.7、震度4、被害なし。
平成	27年1月9日	地震	震源地：根室地方中部、マグニチュード5.4、震度4、被害なし。
平成	27年9月17日～18日	津波	震源地：チリ中部沖、マグニチュード8.3。北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。被害等なし。花咲港区における津波到達時刻等17日午後3時48分。最大波20cm。
平成	27年11月28日	地震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード5.5、震度4、被害なし。
平成	30年9月6日～7日	地震・停電	震源地：胆振地方中東部(9月6日発生)、マグニチュード6.7、震度3。地震の影響により、北海道全域で停電が発生したことから、災害対策本部を設置し対応。公共交通機関は全て運休。市内小中学校も臨時休校。テレビ視聴・携帯電話等の充電コーナーを5箇所に設置。被害件数、農業被害(牛乳)492t、商工被害51件、被害額89.3百万円。

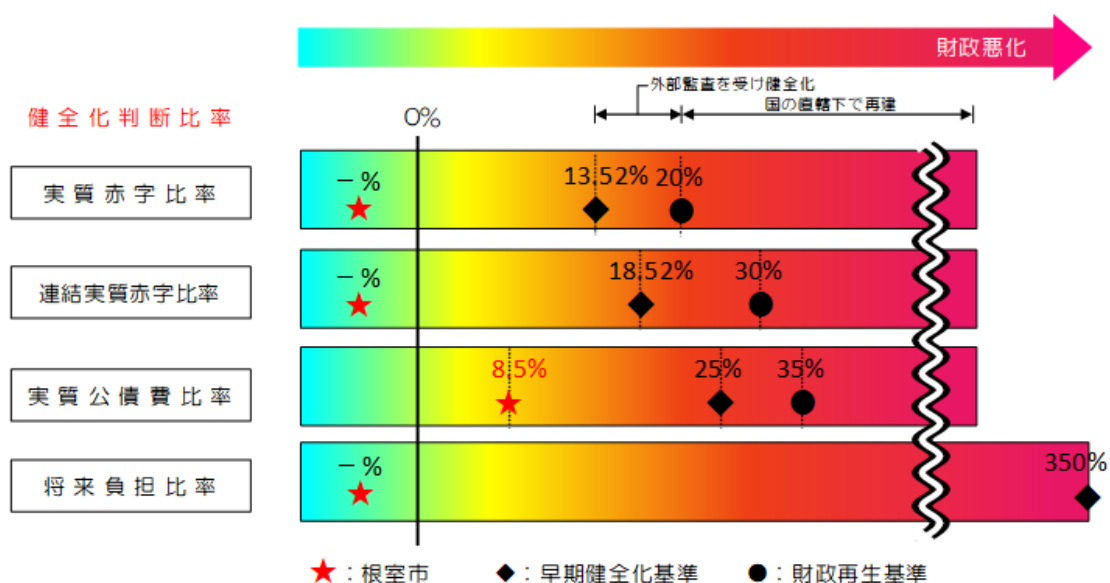
出典：根室市HP

1-7 根室市の健全化判断比率の状況

国、地方ともに財政状況が厳しい状況にあり、国においては「経済財政運営と構造改革に係わる基本方針 2006」(平成 18 年 6 月閣議決定)により、「歳出・歳入一体改革」を継続することが明示されています。

また、地方公共団体においては、歳入減少に伴う歳出減少の傾向にあり、特に中小市町村では極めて厳しい財政状況にあります。

そのため、2007 年 6 月に自治体財政健全化法が成立し、自治体は新たな財政比率のもとで、健全な行政運営を行うことになっています。根室市は、その指標となる 4 つの健全化判断比率の基準値をすべてクリアしています。



※「-」は黒字となっているため、比率が算定されません

出典：根室市 HP(平成 30 年度決算)
健全化判断比率に係る基準

- ※ 実質赤字比率：福祉、教育、まちづくり等を行う地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すもの
- ※ 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示すもの
- ※ 実質公債費比率：借入金(地方債)の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すもの
- ※ 将来負担比率：地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの

1-8 前中期ビジョンの進捗状況

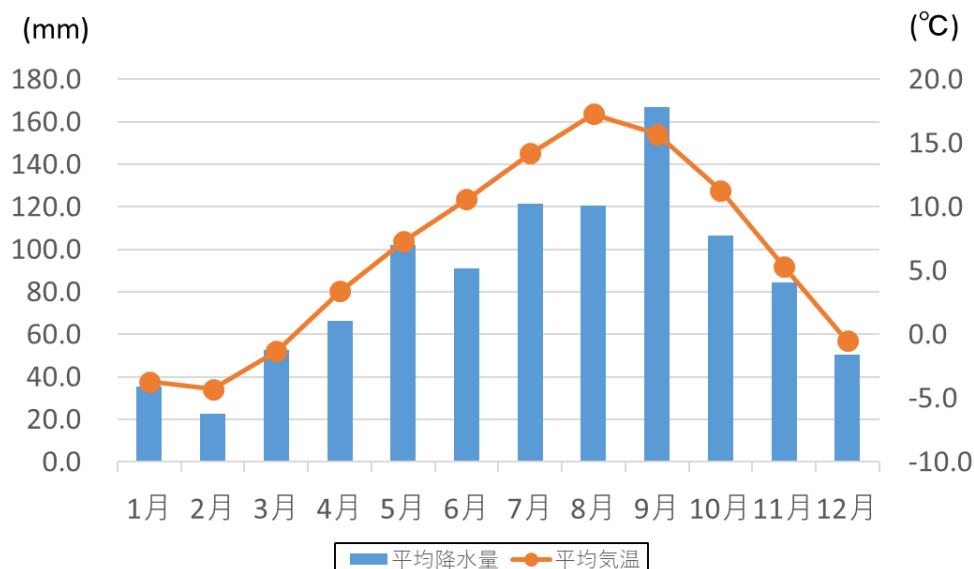
前中期ビジョン（平成23年度～令和2年度）の進捗状況

基本方針	施策	具体策	進捗状況
健全な下水道経営	強化、体制の効率化 経営基盤・計画の	<ul style="list-style-type: none"> 水洗化の早期促進 中期経営計画の策定 不明水対策の実施 技術の習得・継承 民間活力の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 水洗化率：77.9%(H20)⇒86.5%(R元) 経営戦略の策定 カメラ調査 L=7,3km 止水箇所 N=616箇所 水道料金と併せ下水道使用料の徴収等業務の民間委託
	見える下水道の推進	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい下水道情報の提供 イベントの開催による啓発・情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌「ねむろのみず」の発行 下水道クイズの実施 終末処理場の施設見学
安心・安全な暮らしの実現	下水道施設の維持管理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理計画の策定 管路施設維持管理システムの導入検討 処理施設の維持管理システムの導入検討 下水道施設の長寿命化計画の策定・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 管路のGIS化を実施（R元） 処理施設の維持管理の導入（R元） 長寿命化計画策定 ⇒下水道ストックマネジメント計画策定
	下水道の推進 災害につよい	<ul style="list-style-type: none"> 地震対策の推進 津波・高潮被害予測の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 下水道災害対応マニュアルの毎年更新 下水道施設の耐水化計画を策定予定（R3）
美しく豊かな水環境の創造	未普及解消 汚水処理の	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な汚水処理の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 汚水処理人口普及率 74%（H20）⇒79%（R元）
	利用の促進 施設の有効	<ul style="list-style-type: none"> 他事業との連携の促進 	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理場を終末処理場に集約化（MICS事業）
	排出量の削減 温室効果ガス	<ul style="list-style-type: none"> 高効率・省エネルギー設備の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 機械・電気設備の改築の際、高効率・省エネルギー設備にて更新

1-2 気象概況

根室市のもっとも顕著な気候特性は、晩春から夏にかけての海霧と低温で、海霧が多発する6月から8月の平均気温は、他の地方に比べてかなり低くなりますが、8月下旬からは霧の発生も減り、さわやかな秋晴れの日が多くなります。

冬は晴天乾燥の日が多くなりますが、季節風が強く体感温度はかなり低くなり、沿岸の海は結氷します。2月には流氷が根室海峡に姿を見せ、4月上旬まで残ります。



年度	平均気温 (°C)	年間降水量 (mm)	年間降雪量 (cm)	最深積雪深 (cm)
H 22	7.3	1,127	232	42
H 23	6.9	860	214	37
H 24	6.5	1,064	188	49
H 25	6.8	1,183	181	36
H 26	6.8	1,195	279	115
H 27	7.6	1,283	178	51
H 28	6.8	1,318	94	25
H 29	6.5	1,004	181	49
H 30	7.0	1,174	139	28
R 元	7.2	903	184	39
平均	6.9	1,111	187	47

過去 10 年間の気象概況（平成 22 年～令和元年）

出典：気象庁